

©新潟エージェンシー・サンライズ

Illustrated by BEE-CRAFT

AMX-003 GAZA C

AXIS MASS PRODUCTIVE TRANSFORMER MO



HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

この商品には、ガザC(ハマーン・カーン専用機)が1セット入っています。

パッケージの写真と本商品とは多少異なりますのでご了承ください。

BANDAI

AMX-003 GAZA C

AXIS MASS PRODUCTIVE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT

©創通エージェンシー・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-003

TOTAL HEIGHT : 22.5m

WEIGHT : 40.8t

TOTAL WEIGHT : 72.5t

GENERATOR OUT PUT : 1720kw

MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY

ARMAMENTS : KNACKLE BUSTER

BEAM GUN

BEAM SABER

(LEG CLAW)



1/144 SCALE

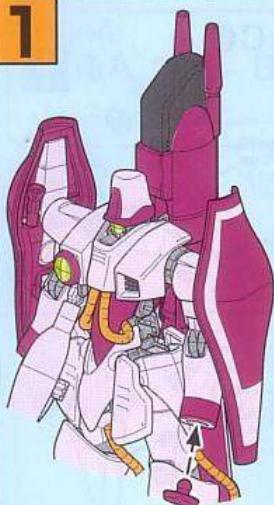
HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

Scanned by Dalong.net 0141907

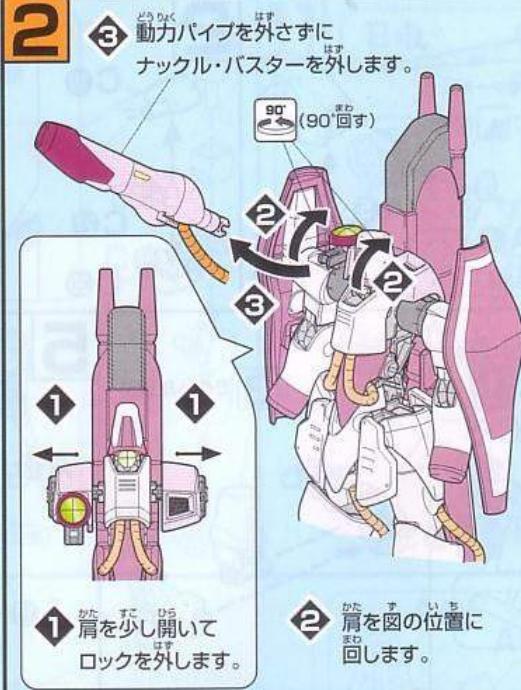
BANDAI

1

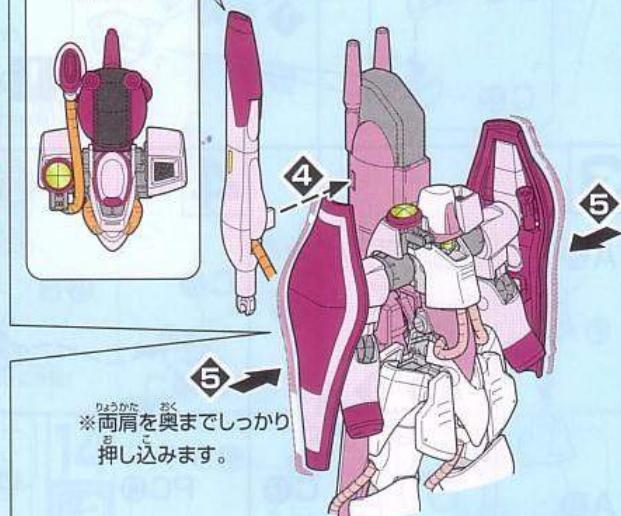
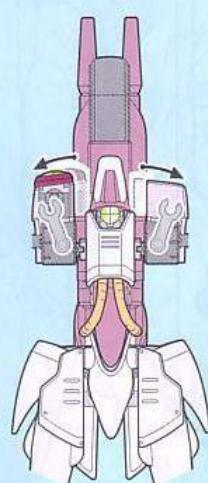
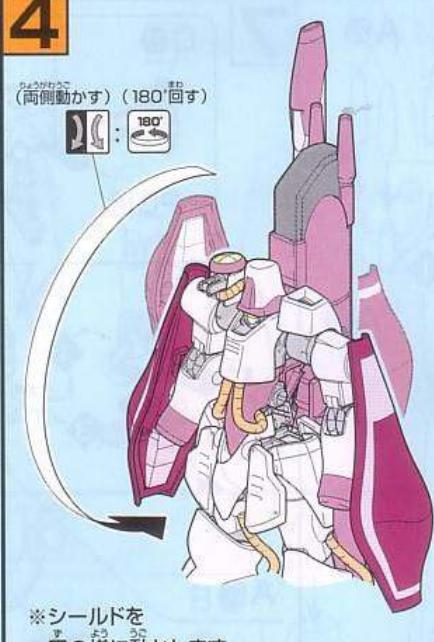
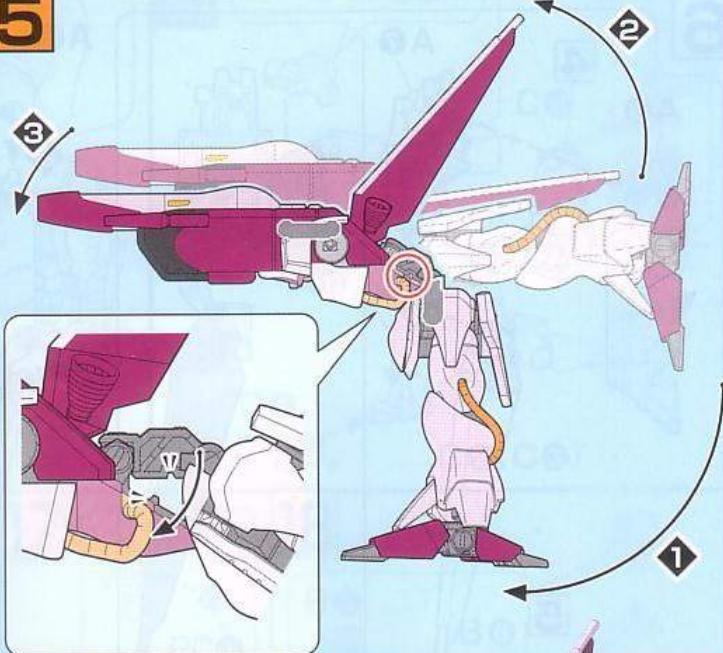
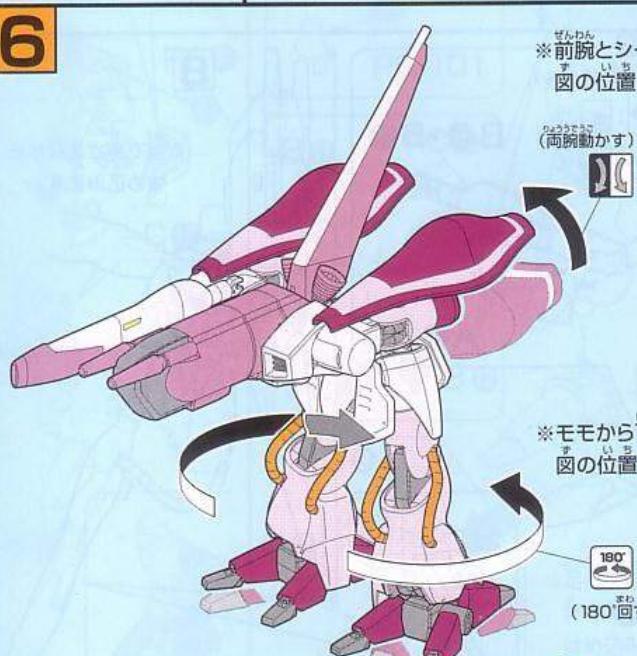
A19

(両腕取り付ける)

※手首は、外しておきます。

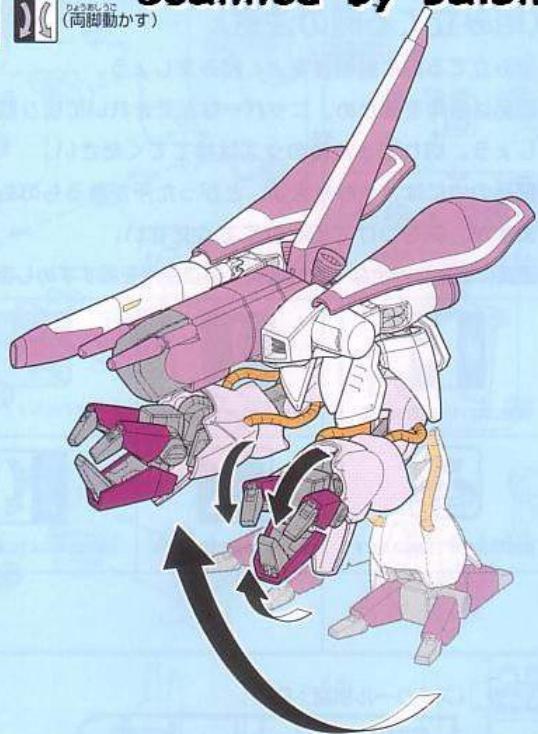
2

※動力パイプは
図のように
配置して
ください。

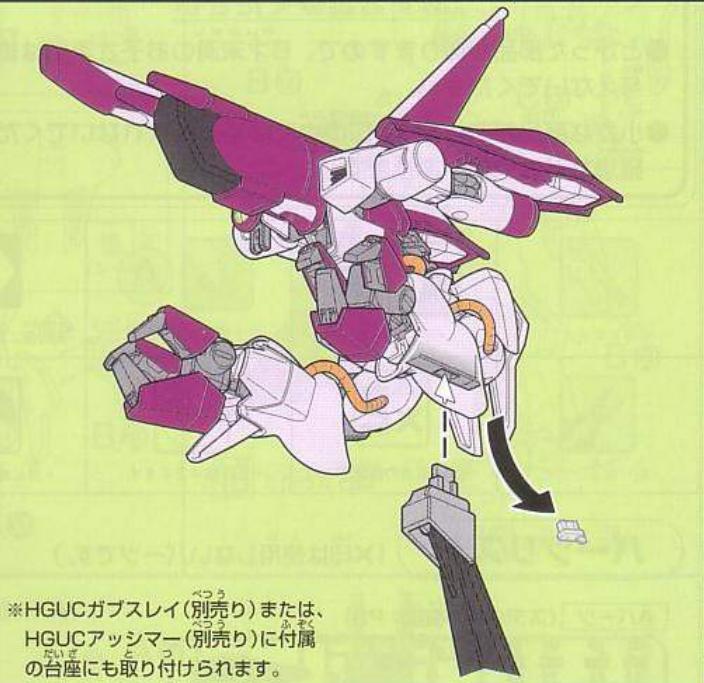
**3**※肩を少し斜めに
開きます。**4**※シールドを
図の様に動かします。**5****6**

※砲台形態を再現。





※HGUC ガザCに付属の台座(別売り)でディスプレイ
が楽しめます。



※HGUC ガブスレイ(別売り)または、
HGUC アッシマー(別売り)に付属
の台座にも取り付けられます。

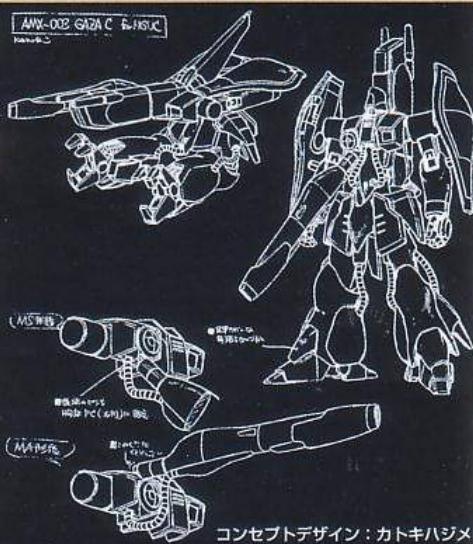
AMX-003 ガザC(ハマーン・カーン専用機)

ガザC(ハマーン・カーン専用機)は、劇場版「機動戦士ΖガンダムII -恋人たち-」に登場する可変MSである。U.C.0087年10月、最大規模のジオン公国残党アクシズが地球圏に帰還した。その真意は計りかねるもの、共闘できれば劣勢を覆すことができる。アクシズとの接触を命じられたアーガマは、同じくアクシズとの接触を目論むシロッコのドゴス・ギアのMS部隊との戦闘を余儀なくされていた。そこに割って入るようにアクシズから無数のガザCが現れ、ドゴス・ギアのMS部隊を排除するとアーガマを取り囲む。と、ただ一機だけ白い機体がアーガマに接触してきた。アクシズはアーガマとの接触を望んでいたように見えた。「そしてこれがリック・ディアスか」「そ、そうだ。アポリー・ペイが操縦している」「機体がよく保ったな、ガンダム」「ゼータ・ガンダムと言います」機体とパイロットの名を聞いたハマーンは、カミーユが正規兵ではないことも見抜いていた。そして機体をクワトロの百式に相対させると、「それが百式か」「そうだ」「ようやく迎えに来ることができた、同道して頂こう……」そしてつぶやくように、その名を呼んだ。「シャ……」それを誰が聞いたにせよ、込められた真の想いを知ることはできなかっただろう。白いガザCの先導に従い、アーガマはアクシズへと向かう……。

CG Work by YUJI KONNO (Jam)



ハマーン専用機に見る“ジオンのエースカラー”



地球圏へ帰還を果たしたアクシズは、エゥーゴとティターンス双方に対し、その生産能力を誇示するかのごとく大量のガザCを出撃させた。集団戦術でドゴス・ギアのMS部隊を排除したガザCの群れはアーガマを取り囲む。その中から、一機だけ白く彩られた機体が進み出て、アーガマのMS隊をひと通り検査すると、アーガマをアクシズへと先導する。その白いガザCには、アクシズの指導者ハマーン・カーンが座乗していた。ジオン公国の残党であるアクシズは、一年戦争(ジオン独立戦争)後も「ジオン公国」であり続けた。彼らの大義は依然として失われておらず、その主義や思想はもとより、ドグマも維持継承され続けていたのだ。一年戦争において公国軍は、多くのエースパイロットを輩出したが、戦争勃発の当初より、主力兵器であるMSアクシズはエースごとに特定のパーソナルカラーがあつられ、英雄たちの戦果は大いに確伝された。それは彼らの技量を賞賛するとともに、自国の科学技術の先進性を宣揚するものでもあり、ジオン公国の威儀を存分に発揮した。「赤い彗星」「黒い三連星」「青い巨星」「ソロモンの悪夢」「真紅の稻妻」などのふたつ名は、敵対方を問わず広く巷間に知れ渡り、後々まで語り草となっている。すなわち、工業製品として優れた機体の生産能力を持つことと、それを使いこなす「エース」の存在は、かつてはジオンの、そして現在はアクシズに暮らす人々の心の支えであり、ジオンの理想を紐帯とする幹そのものとして機能していたのだ。依然としてアクシズは典型的な軍事政権下にあり、政治的指導者は軍事的側面においても主導的な立場にあらねばならなかった。それを象徴するのが、白と紫を基調とする塗装が施された特別仕様のハマーン専用ガザCなのである。キュベレイにも見られるように、おそらくこの配色はハマーンのパーソナルカラーなのだろう。あるいは、ドル専用ザクなどのようにセレモニー用途でも使われていた可能性も否定できない。集団の中にあって特異な存在は、その集団に君臨することを意味し、あるいは自ら異端であることを告白している。また、トップ自らが先陣を切ることで範を示し、集団の統括と掌握を同時に達成する必要があったのだろう。まさに「白いガザC」は、グリップス戦役のターニングポイントにおいて、そのように機能したと言えるだろう。

コンセプトデザイン：カトキハジメ

ACTION**アクションポーズ DETAIL**

各部ディテール

**ナックル・バスター**

右胸の前面に据えられたセンサーとリンクしており、パイロットの練度に関わらず有効な砲撃を加えることができる。また、密集隊形時には近接機と連携して連装砲として有機的な砲撃も可能。

ビーム・ガン

元々はサーベルと兼用可能なデバイスとして開発されたものだが、コストダウンのためにサーベルの生成機能を省略しつつ、単機能化することで性能を維持している。

脚部クローラー

元々は背部ブロックがメインユニットで、脚部クローラーが土木作業用マニピュレーターであった。構造的に重力下での歩行は考えられておらず、敵機の捕獲や砲架としての運用が想定されていた。

ビーム・サーベル

量産性を最優先開発されたデバイスだが、威力は標準レベルを維持している。

変形システム

各ユニットは動力ケーブルによって連結されており、モジュールの移動や変形に対応している。

CUSTOMIZE IMAGE

*写真は、発光ダイオードを組み込んだイメージ写真です。この商品に発光ダイオード及び電池、配線類は含まれておりません。

MOBILE ARMOR**モビルアーマー形態 REAR VIEW****リアビュー****AMX-003 ガザC(ハマーン・カーン専用機)**

"ガザC"はアクシズが開発した可変MSである。一年戦争の終結に伴い、火星と木星の間の惑星帯アストロイドベルトの宙域まで逃げ延びたジオン公国軍の残党は、採掘および木星航路の中継基地であったアクシズを潜伏拠点とするため、居住設備を拡充する必要があった。その作業用の機体としてガザA、ガザBが開発され、小型のコロニーに匹敵する規模の球形居住施設"モウサ"の建設に投入された。当初の指導者であるマハラジャ・カーンは、アクシズでの永住も視野に入れていたが、マハラジャの死後、その方針は転換され、地球圏への帰還が決定した。それに前後して、作業用のガザシリーズを生産する設備を流用してガザCが開発、生産されることになった。本来が作業用の機体である上、MAとしても運用できるよう可変機構を取り入れたせいもあって運動性や機動性は決して優秀とは言えず、また、当時のアクシズには組織的にパイロットを養成する設備も機関も確立されておらず、パイロットの練度不足も問題であった。それらを補うべく、生産性が最優先され、砲撃を中心とする集団戦術が想定された。実際には、ナックル・バスターの搭載とジェネレーター強化が計られ、各ユニットは動力ケーブルによってリンクされている。アクシズが地球圏に帰還した時点では、本来の専用機であるキュベレイはすでに完成していたが、初遭遇で手の内をすべて晒すほどハマーンは迂闊ではなく、まずは量産機の生産能力を誇示しつつ、余計な脅威も与えずに済ませるという遠謀深慮があったのだろう。

COLOR GUIDE

●本体等：



ホワイト(90%)
+パープル(10%)
+ピンク(少量)

●シールド等：



蛍光ピンク(45%)
+パープル(25%)
+クリアレッド(20%)
+クリアブルー(10%)

●関節等：



ニュートラルグレー(60%)
+ミティアムブルー(25%)
+ホワイト(10%)
+レッド(5%)

●動力パイプ等：



イエロー(65%)
+ホワイト(30%)
+ブラウン(5%)
+ブラック(少量)

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

●ナックル・バスターの一部：



イエロー(60%)
+ホワイト(30%)
+オレンジ(10%)

●胸部インテーク等：



ブラック(100%)
+レッド(95%)
+ブラック(5%)



注 意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。
窒息などの危険があります。

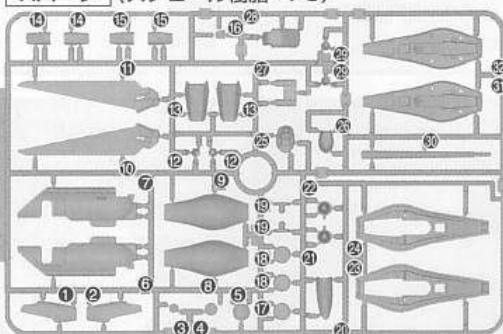
組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

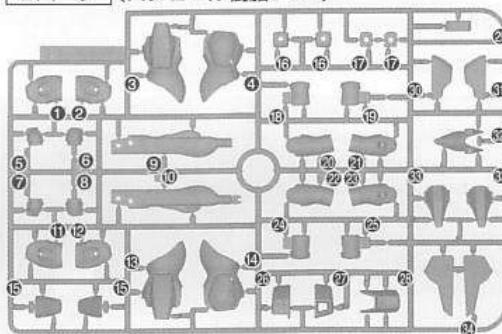


パーツリスト (X印は使用しないパートです。)

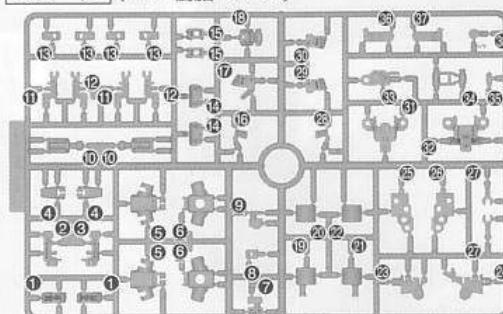
Aパート (スチロール樹脂: PS)



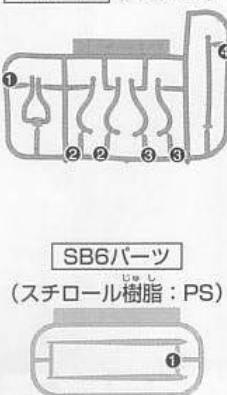
Bパート (スチロール樹脂: PS)



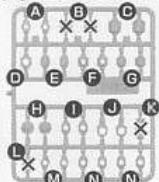
Cパート (ABS樹脂: ABS)



Dパート (合成ゴム)



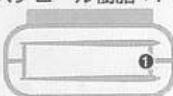
〈PC-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



〈PC-101〉
(ポリエチレン: PE)



SB6パート
(スチロール樹脂: PS)



●シール.....1

Scanned by Dalong.net

《お買い上げのお客様へ》 部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂いた個人情報は、商品・部品の発送業務以外には使用いたしません。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター

〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL 054-208-7520

《料金表》 ●部品代は1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	シール	その他の部品
部品代	80円	40円	各40円
郵送料	80円	80円	120円

- ・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10時～16時
- ・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード

0141907-1400

1/144SCALE HG UC
AMX-003 ガザC(ハマーン・カーン専用機)

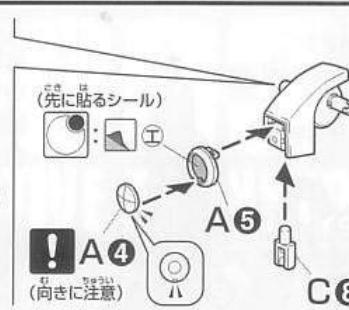
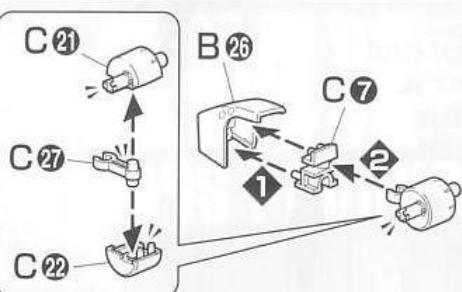
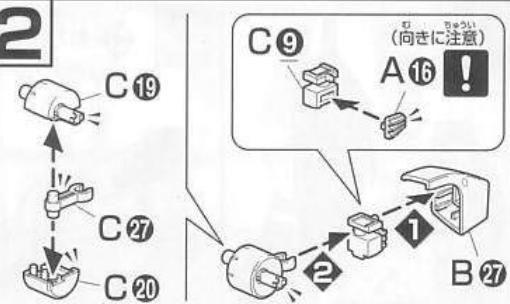
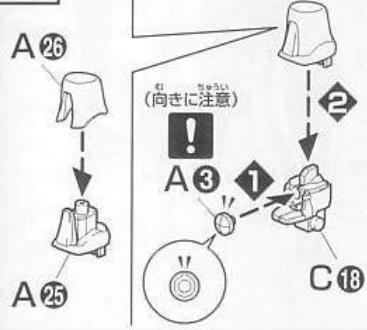
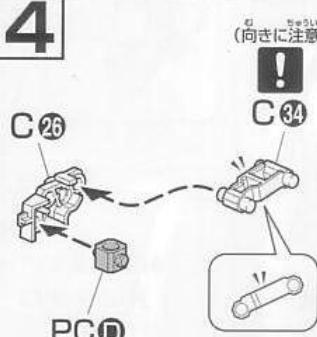
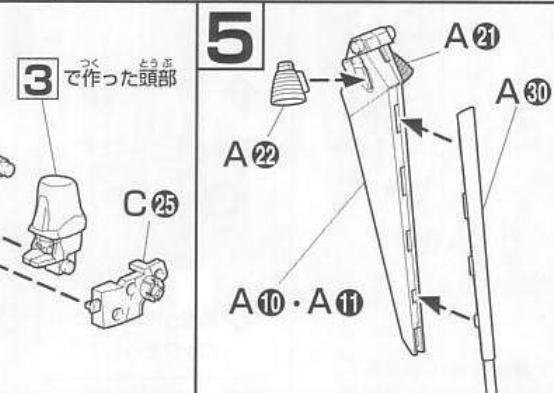
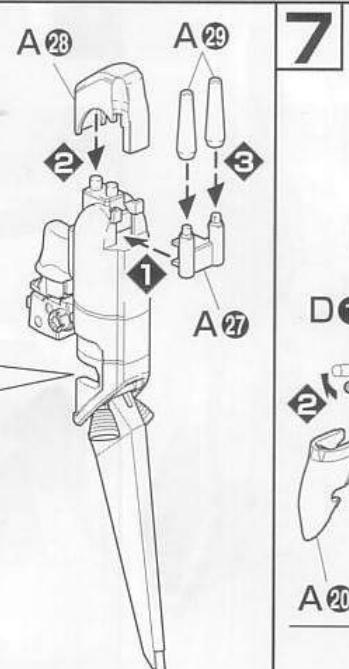
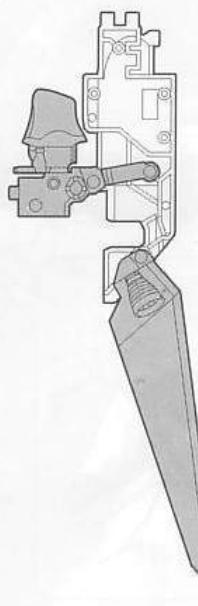
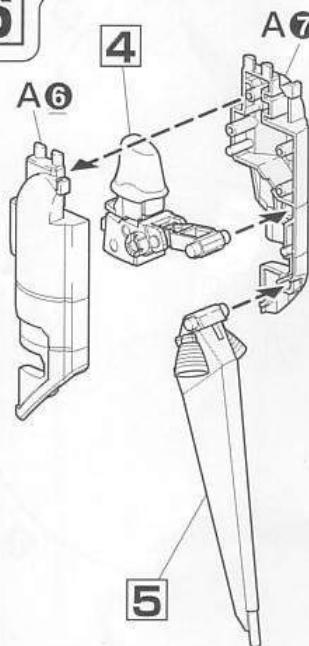
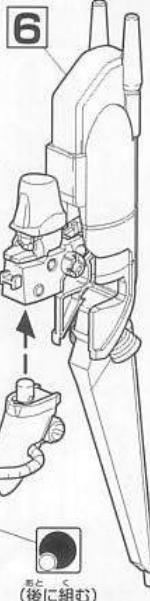
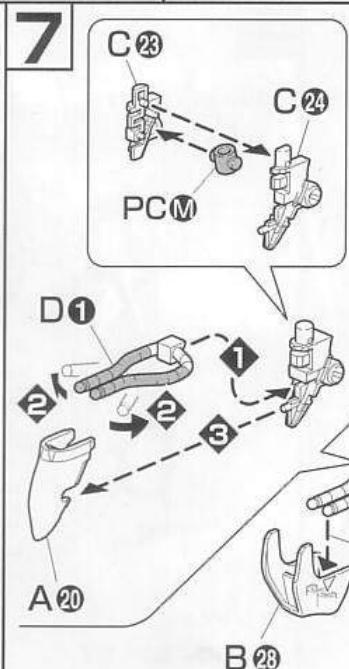
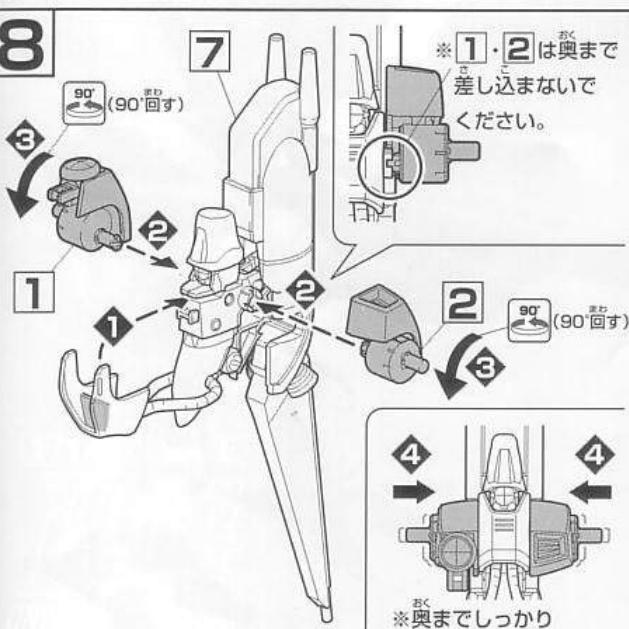
必要な部品の記号・番号・数量をかく

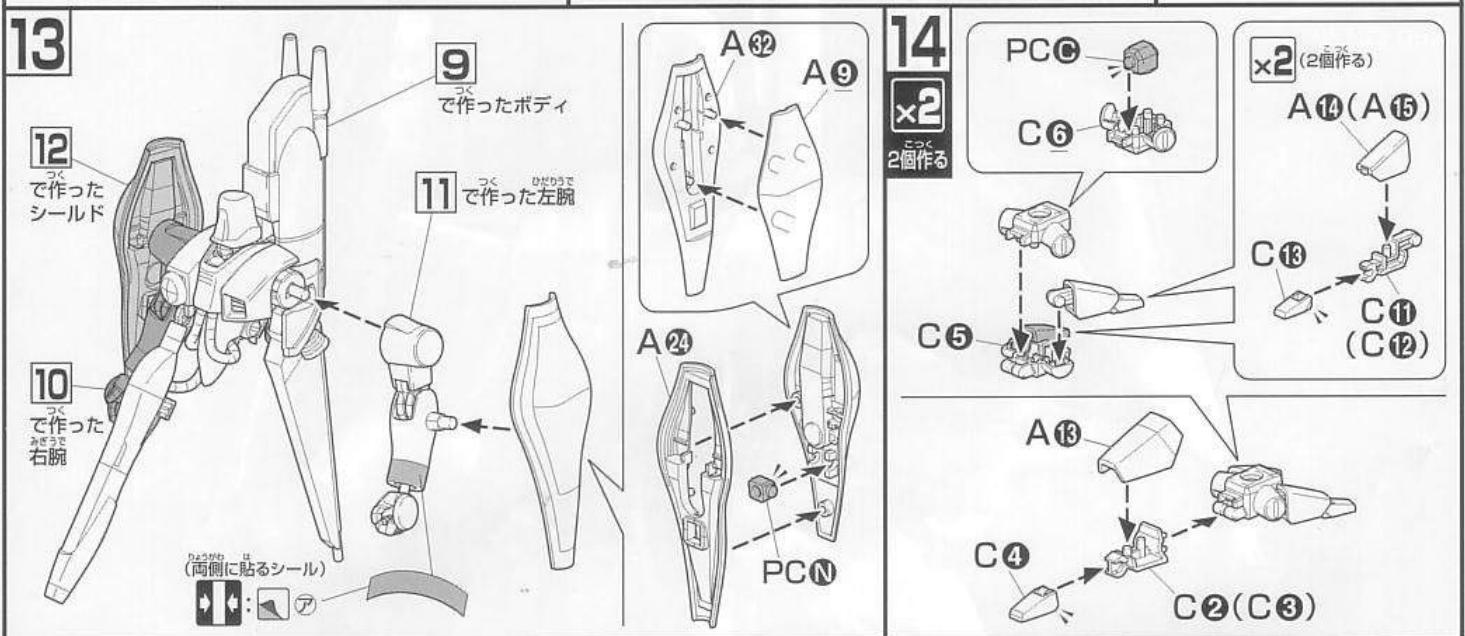
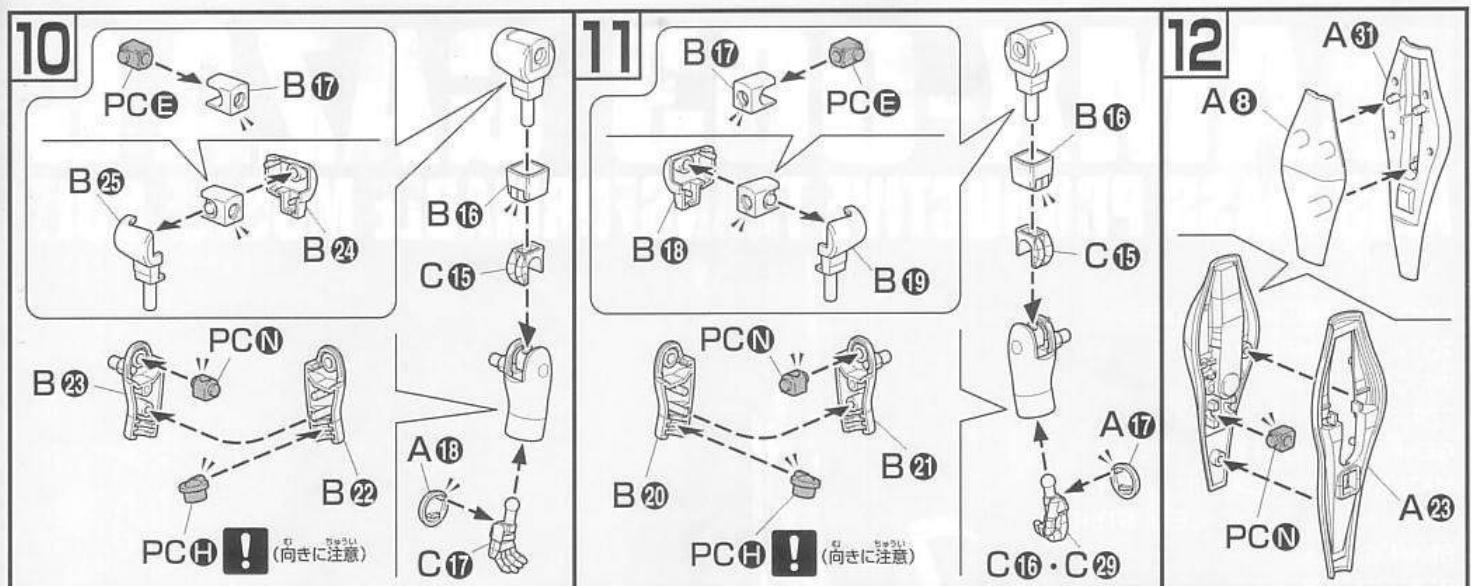
●注文された理由(○で囲む)(こわしたなくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 ・年齢
(- - -) (才)

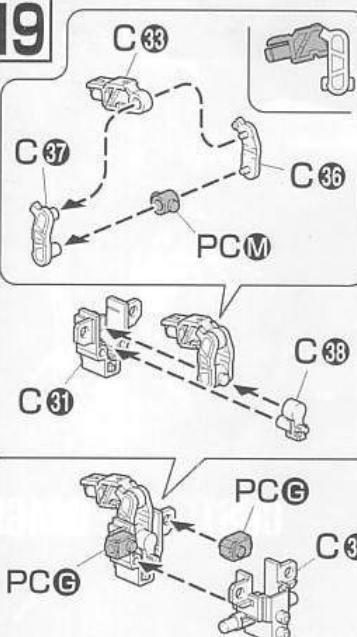
'06.04

※コピー使用可

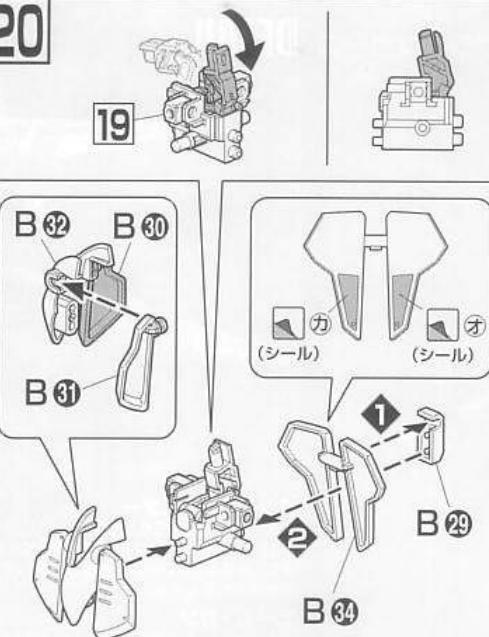
1**2****3****4****5** で作った頭部**6****7****8**



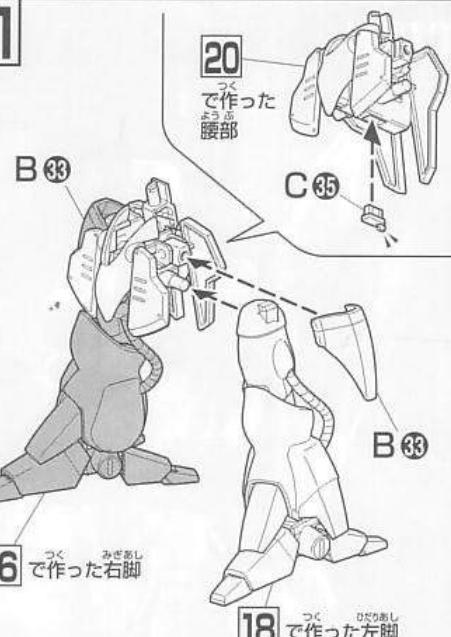
19



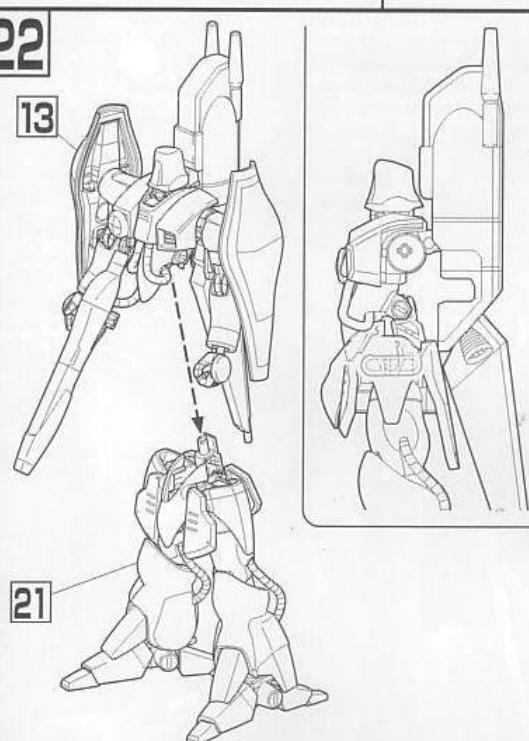
20



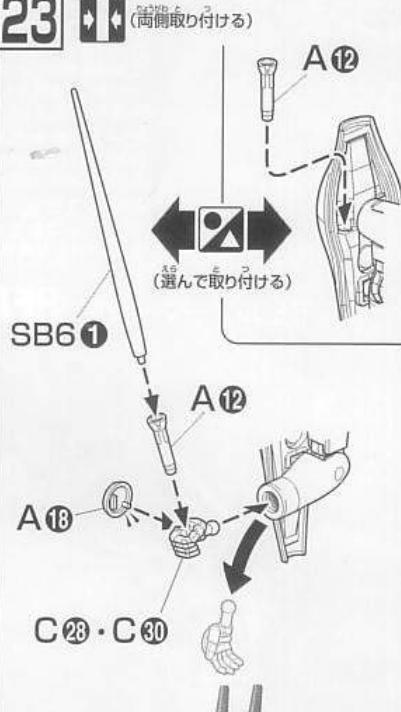
21



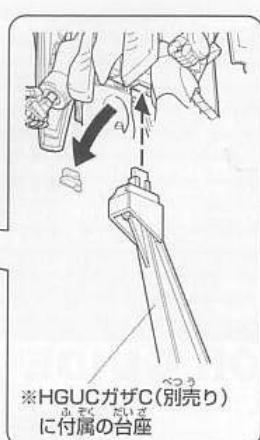
22



23



HGUC ガザC(別売り)の台座を使用して
2機並べてディスプレイできます。



*HGUC ガザC(別売り)
に付属の台座